

～風だより～

こうのとりの

第6号
2023.7.1

越前市エコビレッジ交流センター
(公財) 日本鳥類保護連盟福井県支部

えちぜん環境楽の森づくり

日本鳥類保護連盟福井県支部 堀江 照夫

連盟の支部に入るより前に、「えちぜん環境楽」のメンバーとして岡部さんや野村さんと活動していました。

環境楽の会議の時、「身近で自然体験ができる手ごろな森があるといい」という意見が出て、自分の山を提供することになりました。整備するにはお金がかかるので、林武雄氏から「サントリーの愛鳥基金」を紹介していただき、その辺りから連盟福井県支部とも関わるようになりました。

今年もエコビレッジの講座として、支部との共催で、この森の手入れをしながら、もっと、たくさんの人に利用して欲しいという思いにかられました。山道を少し歩けばビオトープに出ます。樹木が生えている環境から、水がある環境へとつながり、生きものの違いについて分かってもらえる場所です。自分の体力が続く限り、この「えちぜん環境楽の森」の手入れを続けていきたいと思っています。



新緑の里山ウォーク in 坂口

日本鳥類保護連盟福井県支部長 林 昌尚



太陽が日傘を被るような薄曇りの中、参加者の皆さんと一緒に矢良巢岳に登りました。

登山道はすっかり緑が濃くなり見通しが利きづらくなりましたが、藪の中から様々な鳥たちの声が聞こえてきました。木やきのこの観察などしながら山頂を目指します。昨冬つけられたクマの爪痕なども数か所で見られました。

山頂に到着すると広場にはノウサギやニホンジカの糞がたくさん落ちていました。近年ニホンジカの食害が酷く、イネなどの食物はもちろんのこと、野生の他の生き物たちの食草なども壊滅状態になってしまっているケースもあります。生態系のバランスがかなり崩れているように感じます。矢良巢岳登山を通して、そういった生態系について考えて頂く機会になればと思います。そうそう、なかなか目にするこのない飛べない昆虫ツチハンミョウも見つけましたよ！



越前市坂口地区のコウノトリ情報



坂口地区の巣塔から今年は4羽巣立ちました。

6月5日から11日の1週間で、バタバタと巣立ったという感じです。巣立った後も、4羽が同じ田んぼで採餌行動をしている光景がよく観られ、遠くに飛び立ってしまうとみんなでそろることがないので、一緒にいられる今のこの環境を楽しんでいるのかなと思います。

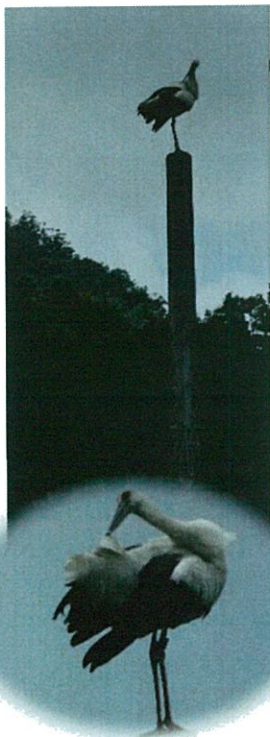
足環付（5月12日）の際、羽根を採取して遺伝子を調べます。今年も雄雌2羽ずつだったことが判明。地元の坂口小と武生二中坂口分校の児童生徒に愛称を考えてもらいました。愛称を付けることに対し、反対意見もありますが、地域で「コウノトリが舞う里づくり」の取り組みを進めるに当たり、たくさんの人に興味を持って活動していただくためには、名前を付けることも一つの方法だと思っています。

さて、お隣り白山地区の安養寺町の巣塔では、昨年雄のJ0138（たからくん）が亡くなったため、今年はどうなるのかと思いきや、昨年、鯖江市吉川地区で繁殖に成功したJ0169（ほまれくん）が後夫としておさまり、無事に2羽巣立ちました。吉川地区の巣塔には、安養寺町の巣塔で、越前市で初めて（令和2年）野外繁殖したJ0301（さーくん）が新夫としておさまり、無事に4羽育っているようです。

今回、足環が付いているから雄の入れ替えが分かるだけで、本当は昔からこんなことがあったのでしょうか。コウノトリの世界も面白いです。

小浜市は3羽とお聞きしています。これで、今年、県内では13羽巣立つこととなります。

（野村）



子育て一段落！休憩する母鳥

個体番号		左	右	性別	愛称	
J0514	上	赤	緑	メ	舞ちゃん (まい)	空を優雅に舞って欲しいから
	下	緑	黒	ス		
J0515	上	青	緑	オ	勇くん (ゆう)	雪が満ちあふれて楽しくなって欲しいから
	下	黒	黒	ス		
J0516	上	青	緑	オ	風翔くん (ふうと)	風にゆられて大きく飛んで欲しいから
	下	黄	黒	ス		
J0517	上	青	緑	メ	笑ちゃん (えみ)	飛び立つときに笑顔で飛んで行って欲しいから
	下	赤	黒	ス		



今年巣立ったコウノトリ

ついにゲット！

日本鳥類保護連盟福井県支部長 林 昌尚

今年は鳥の当たり年でしょうか？ 6月6日に朝、ジャガイモの試し掘りをしていると遠くからサンコウチョウの声が聞こえてきました。「ツキヒーホシ ホイホイホイ」その声の主は、数回囀っただけで通り過ぎて行きました。

それから1時間ほど過ぎた頃、今度は「ホーヘン、ホーヘン」と聞きなれない声が……。以前映像で見て記憶に残っていた声を思い出しました「ヤイロチョウだ!!」その声がだんだん近づいてきます。近くの神社の方まで来て数回囀りましたが、その後は全く聞こえなくなりました。

6月11日、今度はアカショウビンの特徴的な囀りが聞こえました。いつもの年ならアカショウビンも通過して行くのですが、今年は違うようです。この日の後、毎日囀りが聞こえるようになりました。自宅近くで囀りが聞こえたので、2階の窓を開けて息を凝らしていると「キタッ！」近くのシラカシの枝に止まって

囀り始めました。シャッターチャンス！ ついに撮影に成功しました。今まで声は何度も聞いていましたが撮影できたのは初めてでした。なんと美しい朱色でしょうか……。

それから毎日囀りが続いています。ひょっとしてどこか近くで巣作りを始めるのでしょうか……楽しみです。



6月5日(月)、毎年恒例の釣糸回収実施。場所は昨年と同じ、鷹巣海水浴場。

この場所を選んだ理由は、駐車場から浜まで近いことと、拾ったゴミを観光連盟の方が引き取ってくださることの2点。

また、一昨年までほとんど見つけることのなかった釣り糸や疑似餌、浮きなど、少量ですが見つけることが出来てます。駐車場が近いから海釣りに来られる方も多いのでしょうか。



よく「ごみ拾い大作戦」と「ごみ拾い活動」とかいろんな所で開催しています。それなのに一向に減らないゴミ問題。捨てる理由の一つに、「誰かが拾ってくれるだろう」というものがあるのではないのでしょうか。拾ったゴミをまとめながらそんなことを思いました。(野村)

ゴミ問題を考える

福井県支部で年1回行っている海岸の釣り糸回収とゴミ拾い。今年も色々な種類のゴミを見つけました。外国語表記のゴミも確かにありますが、明らかにここで捨てたゴミも多く、外にゴミを捨てる人の心理って…と考えてしまいます。

5月3日の「ゴミの日」にテレビ番組で戦後の日本のゴミ問題から現在に至るまでの特集をしていました。そこは足の踏み場もないくらいのゴミだらけの列車の中や街。川はゴミが沈み、悪臭とヘドロのひどい状況でした。世界一綺麗な国と称される日本もこんな風だったんだと驚きました。

最近見たプラスチック汚染の記事で、マイクロプラスチックは洗濯水から流れる細かい繊維や養殖の魚の餌も原因の一つで大量に出て問題になっている事、シャンプーなどのシリコンも原因になっている事、それも地球温暖化に繋がっている事などが書いてありました。人間が生活している事で他の生きものや地球に迷惑をかけている。今すぐどうにかなる問題ではなくとも、世界中の人達が気持ちを少し変えるだけで、戦後の日本から変わったようにきっとよくなるはず…と思いながら、まずは自分ができる事をしていきたいと思っています。

(エコビレ指導員 田川)



編集後記

ここ2、3日、パソコンの調子が悪く、フォントや文字の大きさがそろわない会報になってしまいました。ただえさえお見苦しい文面なのに、また一段と読み辛いと感じられたかもしれません。ご了承ください。

出勤時、駐車場についてドアを開けた瞬間、聴こえてくる野鳥の鳴き声に癒されています。今年、駐車場で耳にした初鳴きが、「カッコウ」5月17日、「ホトトギス」5月26日、「アカシヨウビン」5月31日です。ただ、カッコウだけはその日にしか聴けませんでした。どうしたんでしょう。今でも気になっています。皆さんのところはいかがでしょう？ (野村)

越前市エコビレッジ交流センター 【住所】 福井県越前市湯谷町 25-25-2

TEL/fax 0778-28-1123 E-mail info@ecovllg.jp

URL <http://www.ecovllg.jp/>

